

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2023年度 パフォーマンス向上会議情報(2023年4月5日(水)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2023年4月5日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	【双葉消防本部立入検査における指摘について】 2023年3月15日に双葉消防本部の立入検査が行われ、雑固体焼却設備のA, B防火戸について、以下の指摘を受けた。 当該危険物施設に設置されている特定防火設備である防火戸について、自動閉鎖しない箇所があることから、改善するとともに、定期的に点検を実施し適宜修繕すること。 今後、自動閉鎖しない箇所の防火戸が自動閉鎖するよう改善予定。	G II	3月30日
2	【双葉消防本部立入検査における指摘について】 2023年3月15日に双葉消防本部の立入検査が行われ、雑固体焼却設備予備発電機の防火戸について、以下の指摘を受けた。 当該危険物施設に設置されている特定防火設備である防火戸について、自動閉鎖しない箇所があることから、改善するとともに、定期的に点検を実施し適宜修繕すること。 今後、自動閉鎖しない箇所の防火戸が自動閉鎖するよう改善予定。	G II	3月30日
3	【双葉消防本部立入検査における指摘について】 2023年3月16日に双葉消防本部の立入検査が行われ、非常用ディーゼル発電機2B、非常用ディーゼル発電機4Bの防火戸について、以下の指摘を受けた。 当該危険物施設に設置されている特定防火設備である防火戸が自動閉鎖しないため、改善するとともに、定期的に点検を実施し適宜修繕すること。 今後、自動閉鎖しない箇所の防火戸が自動閉鎖するよう改善予定。	G II	3月30日
4	【1号機原子炉建屋空調設備冷却器からの冷媒漏えいについて】 協力企業作業員が、東日本大震災以降使用していない1号機原子炉建屋空調設備の冷却器8A、8B、9A、9Bより冷媒回収作業を行ったところ、充填した量の冷媒が回収出来なかったことから冷媒が漏えいしていたことを確認。 原因は、1号機の水素爆発により飛散したガレキによって、当該冷却器が損傷し漏えいしたものと推定。 なお、冷媒漏えいについては、福島県相双地方振興局へ報告予定。	G III	4月3日